

適用上の注意の改訂

ポリ塩化ビニル(PVC)製の輸液セット・カテーテルの使用は避けること。

【商品名】パルクス注、リプル注

PVC製の輸液セット等の可塑剤であるDEHP [フタル酸ジ-(2-エチルヘキシル)]が溶出するため。

特に動脈管依存性先天性心疾患の新生児には使用を避けること！

持続静注によりDEHPの総溶出量が増加するため。

【商品名】フロリードF注

ミコナゾールはPVC製の器具等に吸着されるため。また、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油60 (HCO60) によってDEHPが溶出するため。

当院で使用可能な輸液セットは以下の通り

輸液セット：テルフュージョンポンプ用定量輸液セット A	【物流番号：02724】
JMS ニトログリセリン用輸液セット (輸液フィルター・三方活栓付き)	【物流番号：04532】
テルフュージョン輸液セット	【物流番号：04642】
エクステンションチューブ：JMS エクステンションチューブ 500 mm	【物流番号：04533】

その他のPVC製輸液セット・カテーテル使用不可の薬剤

ミリスロール注、ラストット注、タキソール注、サンラビン注、サンディミュン注
イントラファット 10%、イントラリポス 10%、イントラリピッド 20%

適応症の追加

ジェムザール注 200 mg/V、1g/V

【効能・効果】膀胱癌

【用法・用量】非小細胞肺癌と同様。

適応症の追加

プロレナール錠 5 µg

【効能・効果】後天性の腰部脊柱管狭窄症 (SLR 試験正常で、両側性の間欠跛行を呈する患者) に伴う自覚症状 (下肢疼痛、下肢しびれ) および歩行能力の改善

【用法・用量】通常成人に、リマプロストとして1日 15 µg を3回に分けて経口投与する。

適応症の追加

ワゴスチグミン注 0.5 mg/A

【効能・効果】非脱分極性筋弛緩剤の作用の拮抗

【用法・用量】通常、成人にはメチル硫酸ネオスチグミンとして、1回 0.5~2.0 mgを緩徐に静脈内投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、硫酸アトロピンを静脈内注射により併用すること。

【用法・用量に関連する使用上の注意】

本剤は特別な場合を除き 5 mg を超えて投与しないこと！

成人には硫酸アトロピンとして 1回 0.25~1.0 mg を静脈内注射により併用すること！

適応症の追加

ティーエスワンカプセル 20 mg、25 mg

【効能・効果】頭頸部癌

【用法・用量】胃癌と同様

Drug Safety Update No.98 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 : 最重要 : 重要 無印 : その他

成分名(薬品名)	主な改訂内容
ドパール [®] (ドパール [®] タン)	禁忌：重篤な心疾患患者（重篤な副作用あり）、QT延長症候群患者 慎重投与：心疾患患者 [QT延長、心室頻拍（Torsades de pointes を含む）の発現あり] 重大な副作用：QT延長、心室頻拍（Torsades de pointes を含む）
ジクロフェナク Na (ナール SRカプセル、ボルタレン錠、ボルタレンサポ)	重大な副作用：消化管潰瘍、血小板減少、横紋筋融解症（急激な腎機能悪化を伴う。 症状：筋肉痛、脱力感、CPK 上昇、血中及び尿中ミカド [®] 上昇等）
イゾラム (テラス錠・顆粒)	重大な副作用：横紋筋融解症（筋肉痛、脱力感、CPK 上昇、血中及び尿中ミカド [®] 上昇） 間質性肺炎 [発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常（捻髪音）等ある場合 胸部 X 線検査、副腎皮質ホルモン剤の投与]
酒石酸メプロロール (セケン錠、セケン L 錠)	重大な副作用：心原性ショック、徐脈
オメプラール (オメプラール錠)	重大な副作用：横紋筋融解症（筋肉痛、脱力感、CPK 上昇、血中及び尿中ミカド [®] 上昇等）
塩酸サチンアセート (アルタットカプセル、アルタット注)	重大な副作用：再生不良性貧血、血小板減少、ショック（初期症状：不快感、顔面蒼白、血圧低下等）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）黄疸（AST、ALT、 γ -GTP 上昇等） 重大な副作用（類薬）：他の H ₂ 受容体拮抗剤で横紋筋融解症、房室ブロック等あり
シアミド (シアミド液)	重大な副作用：再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少、黄疸（AST、ALT、 γ -GTP、LDH、Al-P、ビリルビン等上昇）あり。定期的に肝機能検査を行うこと。 長期投与：肝細胞に刃状様封入体（ground glass inclusion）発現
グリラジド (グリミロン錠)	重大な副作用：黄疸（AST、ALT、ALP 上昇等） その他の副作用：肝臓（AST、ALT、ALP 上昇等）
塩酸パソマイシン注射剤 (塩酸パソマイシン点滴静注用)	重大な副作用：黄疸（AST、ALT、ALP 上昇等）

セゾニル(セゾニカプセル・細粒)	重大な副作用：劇症肝炎、肝機能障害、黄疸
フェバロニタール(フェバロニル10倍酸・エリキシル、フェバロニ注)、 フェバロニタールナトリウム (ワコビタール坐剤)、 臭化メソソラート・フェバロニタール(トランコロンP錠)	重大な副作用：血小板減少、AST、ALT、 γ -GTP上昇等
フェニトイン・フェバロニタール・ 安息香酸ナトリウムカフェイン (ヒタントールF錠)	重大な副作用：AST、ALT、 γ -GTP上昇等 その他の副作用：血小板減少(発現時、投与中止等の処置を行う)
エゾラム(デパス錠・顆粒)	相互作用：肝代謝酵素CYP2C9及びCYP3A4で代謝 併用注意：マレイン酸カルシウム(デプロメル錠) 本剤の血中濃度を上昇させるため、本剤の用量を減量すること その他の副作用：高プロラクチン血症
塩酸カロルプロマジン・ 塩酸プロメタジン・フェバロニタール (ベケタミン錠-A・B)	重大な副作用：血小板減少
塩酸パロチチン(パキシル錠)	慎重投与：出血の危険性を高める薬剤を併用している患者、出血傾向または出血性素因のある患者(皮膚及び粘膜出血あり) 重大な副作用：肝炎、黄疸 その他の副作用：血管浮腫、蕁麻疹
塩酸トネジドール(アリセプト錠)	相互作用：薬物代謝酵素CYP3A4及び一部CYP2D6で代謝される(「薬物動態」の項参照) 重大な副作用：錐体外路障害(寡動、運動失調、ジスキジア、ジストニア、振戦、不随意運動、歩行異常、姿勢異常、言語障害等) その他の副作用：せん妄、妄想、昏迷、動悸、血圧上昇、血圧低下、BUNの上昇、尿失禁、頻尿、倦怠感、脱力感、貧血、筋痛
塩酸ピメノール(ピメノールカプセル)	併用注意：糖尿病用剤[インスリン、スルホニル尿素系薬剤(ジメリドン錠、ラチノドン錠、グリミクロン錠、オクテリドン錠、ダオニル錠、アマリル錠)] 低血糖症状あり 重大な副作用：低血糖 発現時には、ブドウ糖の投与等行う その他の副作用：脚の浮腫、ほてり
マジントール(サルックス錠)	<NEW> 効能又は効果に関連する使用上の注意： ・肥満症治療薬の基本である食事療法及び運動療法をあらかじめ適用し、その効果が不十分な高度肥満症患者にのみ、本剤の使用を考慮すること。 ・本剤は肥満度が+70%以上又はBMIが35以上の高度肥満症であることを確認した上で適用を考慮すること。 $\text{肥満度}(\%) = (\text{実体重} - \text{標準体重}) / \text{標準体重} \times 100$ $\text{BMI}(\text{Body Mass Index}) = \text{体重}(\text{kg}) / \text{身長}(\text{m})^2$ ・内分泌性肥満、遺伝性肥満、視床下部性肥満の二次性肥満患者においては原疾患の治療を優先させること。 <NEW> 用法及び用量に関連する使用上の注意： ・食事量、体重の推移、食生活等に留意の上、常に投与継続の可否、投与量について注意すること。 ・本剤は、睡眠障害を引き起こす可能性があるため、 <u>夕刻の投与は避けること</u> 。 禁忌：脳血管障害のある患者、抑うつ等の精神障害のある患者(症状の悪化あり) 慎重投与：てんかん又はその既往歴のある患者(痙攣、発作誘発あり)、高齢者 併用注意：アルコール(飲酒) めまい、眠気等の副作用の増強あり ロケニン系吸入麻酔剤(ロクシ等) 不整脈あり 中枢神経刺激剤[アマタジン(シメトリル錠)等] 幻覚、睡眠障害等の副作用増強あり <u>甲状腺ホルモン</u> 本剤の中枢神経刺激作用の増強あり その他の副作用：神経過敏、激越、抑うつ、精神障害、振戦、幻覚、知覚異常、不安、痙攣、頻脈、胸痛、血圧上昇、脳卒中、狭心症、心筋梗塞、不整脈、心不全、心停止、顔面潮紅、そう痒感 重要な基本的注意：急激な減量による心血管系の合併症のリスクを避けるため本剤投与中は体重の推移に注意。 高齢者への投与：市販後調査で収集した安全性解析対象症例において、高齢者における副作用発現率は、65歳未満の症例に比べて高い傾向あり。
トピジール(ロコナール錠)	重大な副作用：AST、ALT、 γ -GTP上昇等の肝障害、黄疸

リスパリドン(リスパダール錠・細粒)	併用注意：加バセピン[テグレトール錠・細粒(本剤及び活性代謝物の血中濃度が低下する)] その他の副作用：勃起不全 妊婦、産婦、授乳婦等への投与：ヒトで乳汁移行あり
シニジピン(アレルグ錠)	重大な副作用：AST、ALT、 γ -GTP上昇等、血小板減少 相互作用：薬物代謝酵素CYP3A4及び一部CYP2C19で代謝される。 併用注意：アゾール系抗真菌剤(イトリゾール、ジフルカン、フルイドF注・経口用ゲル、 <u>フラジール錠</u>)；本剤の血中濃度上昇 その他の副作用：AST、ALT、LDH、Al-P等上昇、手指振戦、頻脈、房室ブロック、期外収縮、口渇、歯肉肥厚、発赤
塩酸テラジシ(パソメット錠)	重大な副作用：意識喪失(血圧低下に伴う一過性のもの)、黄疸(AST、ALT、LDH、Al-P等上昇) その他の副作用：LDH上昇、羞明
酒石酸メブロロール (セケケ錠、セケケL錠)	相互作用：肝代謝酵素CYP2D6で代謝されることから本酵素の活性に影響する薬剤との併用に注意(「薬物動態」の項参照) 併用注意：選択的セロトン再取り込み阻害剤[パロセチン(パキシル錠)] その他の副作用：光線過敏症、鼻炎、難聴、関節痛
加バリチド[遺伝子組換え (ハブ注射用)]	重大な副作用：過剰利尿(脱水)による電解質異常、心室性不整脈(心室頻拍、心室細動等)、赤血球増加。重篤な肝機能障害。 併用注意：フロセミド[ラシックス注・錠・細粒(過剰の利尿あり)] その他の副作用：心房細動、上室性頻脈等
ニコラジール(シグマート錠・注)	<NEW> 重大な副作用：AST、ALT、 γ -GTP上昇等の肝障害、黄疸、血小板減少
フェノフィラート(リパソチルカプセル)	その他の副作用：多形紅斑、浮腫、腫脹、脱毛(発現時、投与中止)、イボテニス
アルブロスタジル(パルクス注、リパル)	その他の副作用：血尿、振戦 適用上の注意：ポリ塩化ビニル製の輸液セット等を使用した場合、可塑剤のDEHP[フタル酸ジ-(2-エチルヘキシル)]が製剤中に溶出することあり。 <u>特に動脈管依存性心疾患の新生児への投与は、持続静注によりDEHPの総溶出量が増加するので使用を避けること。</u>
塩酸プロカテロール [錠剤 (メプチン錠・メプチンミニ錠)]	その他の副作用：血糖上昇 <NEW> 過量投与：頻脈、頻脈性不整脈、血圧低下、神経過敏、振戦、低カルウム血症、高血糖等あり。 発現時 胃洗浄等により薬剤の除去を行う。症状に応じて救急処置や一般的維持療法を行う。重篤な頻脈性不整脈発現時には 遮断剤(プロプラノロール等)が有効な場合あり。しかし、気道抵抗を上昇させるおそれがあるため、喘息患者等には注意。
[シロップ剤(メプチンシロップ)]	その他の副作用：同上 <NEW> 過量投与：同上 <NEW> 適用上の注意：薬剤交付時 誤飲を避けるため、小児の手の届かないところに保管
[吸入剤(メプチン吸入液)]	過量投与：同上 適用上の注意：同上
オメプラゾール(オメプラール錠)	相互作用：肝代謝酵素CYP2C19またはCYP3A4で代謝される。 その他の副作用：可逆性の錯乱状態(幻覚、激越、攻撃性)、うつ状態 <NEW> 過量投与：徴候、症状(悪心、嘔吐、めまい、腹痛、下痢、頭痛等)
ニガチジン(アシノカプセル)	重大な副作用：無顆粒球症、血小板減少、AST、ALT、 γ -GTP上昇等の肝障害、黄疸 重大な副作用(類薬)：他のH ₂ 受容体拮抗薬で皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)、房室ブロック等の心ブロック、不全収縮、横紋筋融解症あり
塩酸ロキサチンアセテート (アルタットカプセル・注)	その他の副作用：貧血
センソド(プルゼニド錠)	その他の副作用：低カルウム血症
メサジソン(ヘンタジ錠)	重大な副作用：再生不良性貧血、汎血球減少
塩酸ラモクトロ経口剤 (セアOD錠)	その他の副作用：便秘、BUN上昇、ビリルビン上昇
プレドニゾロ経口剤(プレドニゾロ錠「タカタ」、プレドニゾロ錠)、 コルチコステロイドナトリウム (水溶性プレドニゾ)	重大な副作用：消化管潰瘍、消化管穿孔、消化管出血

酢酸カドレチド [®] (サト [®] スチン注射液)	重要な基本的注意：本剤の投与中は、インスリン、グルカゴン及び成長ホルモン等お互いに拮抗的に調節作用を持つホルモン間のバランスの変化による一過性の低又は高血糖を伴うことがある。投与開始時、投与量変更時には注意。 その他の副作用：膵炎
グルカゴン [遺伝子組換え (注射用グルカゴンG・ホ [®])]	重要な基本的注意：二次的な低血糖を予防するため、検査終了後、糖分を経口摂取させることが望ましい。低血糖に基づくめまい、ふらつき、意識障害を起こすことがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意。 重大な副作用：アフィラクシーショック、意識障害 慎重投与：糖尿病患者（「重要な基本的注意」の項参照）、肝硬変等、肝の糖放出能が低下している肝疾患患者（「重要な基本的注意」の項参照）
酢酸プロレリン（スプレキア、 スプレキアMP1.8注）	重大な副作用：血小板減少 その他の副作用：下垂体腺腫
カルボトリオール（トポネックス軟膏）	その他の副作用：接触性皮膚炎
グリセリド [®] （アマリール）	重大な副作用：AST、ALT、ALP等上昇を伴う肝障害、黄疸 その他の副作用：浮腫
塩酸ヒドロキサロン（アクトス錠）	重大な副作用：AST、ALT、ALP等上昇を伴う肝障害、黄疸。類薬（トコリタゾン）で劇症肝炎を含む肝炎あり。
タクリムス水和物 [カ [®] セル剤（プロク [®] ラカ [®] セル）]	<NEW> 警告： ・臓器移植における本剤の投与は、免疫抑制療法及び移植患者の管理に精通している医師又はその指導のもとで行うこと。 ・顆粒とカプセルの生物学的同等性は検証されていないので、切り換え及び併用に際しては、血中濃度を測定することにより製剤による吸収の変動がないことを確認すること 用法・用量に関連する使用上の注意： ・カ [®] セルを使用するに当たって、次の点に留意する。 1) 顆粒とカプセルの生物学的同等性は検証されていない（顆粒のカ [®] セルに対するCmax比及びAUC比の平均値はそれぞれ1.18及び1.08；「薬物動態」の項参照） 2) カ [®] セルと顆粒の切り換え及び併用に際しては、血中濃度を測定することより製剤による吸収の変動がないことを確認。変動が見られた場合は投与量を調節。 ・他の免疫抑制剤との併用により、過度の免疫抑制の可能性もあるため注意。 小児等への投与：低出生体重児、新生児、乳児、幼児に対する安全性は確立していない。 <NEW> 過量投与：BUN上昇、クレアチン上昇、悪心、手振戦、肝酵素上昇等あり。 処置：胃洗浄、活性炭経口投与、フェニトイン投与があるが、十分な経験なし。脂溶性が高く蛋白結合も高いため、血液透析は有用でない。
[注射剤（プロク [®] ラ注）]	<NEW> 警告：臓器移植における本剤の投与は、免疫抑制療法及び移植患者の管理に精通している医師又はその指導のもとで行うこと。 用法・用量に関連する使用上の注意：他の免疫抑制剤との併用により、過度の免疫抑制の可能性もあるため注意。 小児への投与：同上 <NEW> 過量投与：同上
塩酸ゲムシタビン（ジエムザ [®] 注）	併用禁忌：胸部放射線照射 腹部放射線照射 [腹部放射線療法（体外照射）と同時併用する場合、重篤な局所の合併症が発現することあり。なお、術中放射線照射と併用した際の本剤の安全性は確認されていない。] その他の副作用：低酸素血、高炭酸ガス血症、歯肉炎、めまい、不眠、CRP上昇、好酸球増多
塩酸パソマイシン [経口剤（塩酸パソマイシン末）]	重大な副作用：肝機能障害、黄疸
[注射剤（塩酸パソマイシン点滴 静注）]	その他の副作用：LDH上昇、γ-GTP上昇、LAP上昇 小児等への投与：血中濃度をモニタリングする等、慎重に投与
クワラン酸カラム・アキシンリン (オグメチン錠)	その他の副作用：急性全身性発疹性膿疱症
トリル酸スルタミリン（コナシ錠・ 細粒小児用）	重大な副作用：アフィラクシー様症状、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）剥脱性皮膚炎、間質性腎炎、血液障害（無顆粒球症、溶血性貧血、血小板減少等）、肝機能障害、黄疸

シアナミド [®] (シアナミド [®] 液)	その他の副作用：味覚異常、発熱
スルパ [®] クラムドトリウム・セフォ [®] ラゾ [®] ソナト [®] リウム (スルパ [®] ラゾ [®] 静注用)	その他の副作用：斑状丘疹性皮疹等、白血球減少、好酸球増多、低血圧、血管炎、注射部静脈炎、注射部痛、血尿 <NEW> 過量投与： <u>ラクタ</u> 系抗生物質製剤の脳脊髄液中濃度が高くなると、痙攣等を含む神経系の副作用を引き起こすことがある。腎疾患患者に過量投与された場合は血液透析等を用いて体外から除去すること。
アジ [®] スロマイソ [®] (ジ [®] スロマック錠・カ [®] セル小児用・細粒小児用)	重大な副作用：肝機能障害、黄疸（投与終了数日後にも発現することあり） 偽膜性大腸炎（血便を伴う重篤な大腸炎の発現あり。腹痛、頻回の下痢がある時には投与中止。投与終了数日後にも発現することあり。）
塩酸ミサイクリン [経口剤 (ミマイソ [®] カ [®] セル・顆粒)]	重大な副作用：血液障害（汎血球減少、無顆粒球症、顆粒球減少、白血球減少、血小板減少、貧血あり。注射用製剤で溶血性貧血あり。）意識障害等の精神神経障害
[経口剤、注射剤 (ミマイソ [®] カ [®] セル・顆粒、点滴静注用ミマイソ)]	重大な副作用：意識障害 その他の副作用：関節痛
[注射剤 (点滴静注用ミマイソ)]	重大な副作用：血液障害（汎血球減少、無顆粒球症、顆粒球減少、白血球減少、血小板減少、貧血あり。）意識障害等の精神神経障害
サルブ [®] ジン (ゼ [®] リットカ [®] セル)	<NEW> 原則禁忌：妊娠又は妊娠している可能性のある婦人 重要な基本的注意：複数の妊婦において本剤とジ [®] タ [®] ノソとの併用投与による致死性の乳酸性アシドーシスの報告あり。妊娠期間中の本剤とジ [®] タ [®] ノソの併用投与は、治療の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与。妊婦への投与：複数の妊婦において本剤とジ [®] タ [®] ノソとの併用投与による致死性の乳酸性アシドーシスの報告あり。
ジ [®] タ [®] ノソ (ウ [®] アイ [®] ックス錠・ド [®] ライソ [®] ロップ)	<NEW> 原則禁忌：妊娠又は妊娠している可能性のある婦人 併用注意：アロ [®] リノール [ザ [®] イロリク錠（副作用増強のおそれ）] 慎重投与：末梢神経障害又はその既往歴のある患者（症状を増悪又は再発させる） 重要な基本的注意： <ul style="list-style-type: none"> 複数の妊婦において本剤とサルブ[®] ジンとの併用投与による致死性の乳酸性アシドーシスの報告あり。妊娠期間中の本剤とサルブ[®] ジンの併用投与は、治療の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与。 本剤と相互作用を起こす薬剤があるかもしれないので、処方箋の有無に関わらず、服用している全ての薬剤（ビタミン剤等も含む）を担当医に報告すること。 副作用として膵炎が報告されている薬剤との併用は副作用を増強することがあるので併用に注意。 用量・用法に関連する使用上の注意： <ul style="list-style-type: none"> 本剤投与中、膵炎が認められた場合は、投与を中止。 本剤と他の抗 HIV 薬との併用療法において、因果関係が特定できない重篤な副作用が発現し、治療の継続が困難な場合は、原則として本剤及び併用している他の抗 HIV 薬の投与を全て一旦中止すること。 妊婦への投与：複数の妊婦において本剤とサルブ [®] ジンとの併用投与による致死性の乳酸性アシドーシスの報告あり。 その他の注意：マ [®] ス [®] ラットへの 90 日以上投与では、骨格筋に対する毒性が認められているが、ヒトでのミ [®] ガ [®] シとの関連性は明らかではない。
ミコナゾール [経口剤 (ワ [®] リート [®] ゲル経口用)]	禁忌：ピ [®] モ [®] ド [®] (オ [®] ラップ [®])、ト [®] リア [®] ム [ト [®] リア [®] ムの作用の増強及び作用時間の延長 (ル [®] ショ [®])] 慎重投与：ワ [®] リア [®] ム投与中の患者 (ワ [®] リア [®] ム「相互作用」の項参照) 相互作用：本剤は CYP3A4 (3A、2C9) と親和性を有するため、これらで代謝される薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇させる可能性がある。 併用注意：カ [®] バ [®] マセ [®] ピン (テ [®] レット [®] ル)、タ [®] ク [®] リム [®] ス [®] 水 [®] 和 [®] 物 (プ [®] ロ [®] ヲ [®] ヲ)、キ [®] ジ [®] ソ [®] (硫酸 [®] ニ [®] ソ [®] 末)、シ [®] バ [®] ス [®] タ [®] ソ [®] (リ [®] ス [®] パ [®] ス)、ア [®] ト [®] リ [®] ス [®] タ [®] ソ [®] (リ [®] ビ [®] ト [®] ル)、セ [®] リ [®] ス [®] タ [®] ソ [®] (ル [®] イ [®] コ [®] ル)、ピ [®] ソ [®] カ [®] ル [®] カ [®] イ [®] ト [®] 系抗悪性腫瘍剤 [ピ [®] ソ [®] ク [®] リ [®] ス [®] (オ [®] ヲ [®] ビ [®] ソ [®]) 等]、ジ [®] ビ [®] ト [®] ロ [®] リ [®] ジ [®] ソ [®] 系カルシウム拮抗剤 [コ [®] フェ [®] ピ [®] ソ [®] (ア [®] ダ [®] ラ [®] ト、セ [®] バ [®] ミ [®] ヲ) 等]、ベ [®] ラ [®] ミ [®] (ワ [®] ソ [®] ソ [®])、ア [®] ル [®] プ [®] ラ [®] ム (ソ [®] ナ [®] ッ [®] ス)、ミ [®] タ [®] ヲ [®] ラ [®] ム (ド [®] ル [®] ミ [®] カ)、プ [®] ロ [®] フ [®] ラ [®] ム (レ [®] ト [®] ル [®] ミ [®] シ)、メ [®] ル [®] プ [®] レ [®] ト [®] コ [®] ロ [®] (メ [®] ト [®] ロ [®] ル)、セ [®] キ [®] リ [®] (エ [®] ビ [®] -) これらの薬剤の血中濃度が上昇するおそれあり。 重要な基本的注意：本剤とワ [®] リア [®] ムとの併用において、ワ [®] リア [®] ムの作用が増強され、出血をきたした症例あり。併用時は、プロト [®] ロ [®] ビ [®] ソ [®] 時間及びプロ [®] ト [®] ホ [®] テ [®] の回数を増やすこと。 副作用：口腔内異常感、口唇腫脹、黒毛舌

イハールール (オフレイ)	その他の副作用：嘔声、振戦
注射用乾燥インタフェロン-1b (ヘタフェロン皮下注)	<p>重要な基本的注意：本剤の投与初期において、一般に発熱がみられる。</p> <p>重大な副作用：敗血症（易感染性となり敗血症があらわれる）</p> <p>その他の副作用：トリグリセリド上昇、膵炎</p>
ミコザール [注射剤(フリオートF注)]	<p>禁忌：ピモジド（オラップ）、トリアゾラム [「相互作用」の項参照（Ⅷシロ）]</p> <p>慎重投与：ワルファリン投与中の患者（ワルファリン「重要な基本的注意」「相互作用」の項参照） 肝障害、腎障害のある患者（症状悪化あり）</p> <p>併用禁忌：ピモジド（オラップ）、トリアゾラム [トリアゾラムの作用の増強及び作用時間の延長（Ⅷシロ）]</p> <p>相互作用：本剤はシトクローム P-450（3A、2C9）と親和性を有するため、これらで代謝される薬剤の代謝を阻害し、血中濃度を上昇させる可能性がある。</p> <p>併用注意：カルバマセピン（テグレート）、タロリス水和物（プログラー）、キジン（硫酸キジン末）、シバスタチン（リポバス）、アトルvastatin（リビートール）、セバスタチン（バイコール）、ビンカル加イト系抗悪性腫瘍剤 [ビンクリスチン（オノコリン）等]、ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗剤 [ニフェジピン（アタラート）、セバミット）等]、ベラパミル（ワラン）、アルプラゾラム（ソラックス）、ミダゾラム（ドルミカム）、プロゾラム（レンドルミン）、メチルプロピオネート（メドロール）、セキリン（エビ） これらの薬剤の血中濃度が上昇するおそれあり。</p> <p>重要な基本的注意：ミコザール経口用とワルファリンとの併用において、ワルファリンの作用が増強され、出血をきたした症例あり。併用時は、プロトロンビン時間及びトロンボテストの回数を増やすこと。</p> <p>重大な副作用：肝機能障害、黄疸、急性腎不全（定期的に臨床検査を行うこと）</p> <p>その他の副作用：総ビリルビン</p> <p>適応上の注意：ポリ塩化ビニル（PVC）製の輸液セット等の使用は避けること。[ミコザールはPVC製の器具等に吸着される。また、本剤に含まれるポリリン酸硬化ヒマシ油（HCO60）によってPVCの可塑剤であるジエチルヘキシルアテート（DEHP）が溶出する]</p>